

国立西洋美術館を世界遺産に！！

「ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—」

L'Œuvre architecturale de Le Corbusier

—Une contribution exceptionnelle au Mouvement Moderne—



【発行】2011(平成23)年12月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1082 <http://www.city.taito.lg.jp/sekaiisan/>

「世界遺産・平泉に学ぶ—世界遺産と都市—」シンポジウムが開催されました

10月23日、東京国立博物館平成館講堂において、東日本大震災チャリティーシンポジウム「世界遺産・平泉に学ぶ—世界遺産と都市—」が開催されました。

チャリティーシンポジウムは、近藤誠—文化庁長官の基調講演、大矢邦宣平泉文化遺産センター館長、青柳正規国立西洋美術館館長の講演のほか、岩手・平泉、国立西洋美術館、鎌倉、百舌鳥・古市古墳群の資産紹介、パネリストによる公開討論「世界遺産と都市」が行われました。

予定時間を越えてもなお活発な討論が続き、入場者は熱心に耳を傾けていました。



シンポジウムの様子



会場外に設けたブースも多くの方にご覧いただきました

国立西洋美術館を紹介する番組の収録がありました



J-COM台東で放映中の番組、「見たい 知りたい 文化財」で、国立西洋美術館を取り上げることになり、先日、その収録が行われました。

6分番組の2部構成となっており、放送日は以下のとおりです。

〔前編〕11月23日(水曜日・祝日)、25日(金曜日)、27日(日曜日)、28日(月曜日)

〔後編〕12月28日(水曜日)、30日(金曜日)

※各日4回放送されます。

放送時間は①9時34分～、②13時34分～、③17時34分～、④21時34分～
となっています。お楽しみに！

ル・コルビュジエ関連作品の紹介

東京文化会館 ～ル・コルビュジエの弟子・前川國男が設計～

国立西洋美術館から見て、向かい合うようにコンクリート打ち放しの建物があります。

今年、開館50周年を迎えた東京文化会館です。これはル・コルビュジエの三大弟子の一人、前川國男（1905年～1986年）が設計したものです。前川は、大学卒業後パリに渡り、ル・コルビュジエの建築事務所で2年間（1928年～1930年）過ごしました。

国立西洋美術館の建設にあたり、前川は実施設計と現場監理を担っていました。そして、東京文化会館の設計にあたっては、向かい合う国立西洋美術館との調和に配慮したとされています。

その特徴は、①軒の高さを揃えた、②前庭の目地割りと文化会館のサッシ割り付けを合わせた、③外壁の質感を合わせた、といわれています。皆さんも確かめてみてください。



写真1：東京文化会館（外観）



写真2：西洋美術館前庭の目地割り



写真3：東京文化会館のサッシ割り付け

お知らせ

世界遺産区民講座を開催します！

国立西洋美術館の世界遺産登録実現に向けた推進活動の一環として、建築家ル・コルビュジエと彼が設計した国立西洋美術館について、わかりやすく解説する区民講座を開催いたします。

日時：平成24年2月26日（日曜日） [講座] 13時から15時まで（講義・施設見学会）

場所：国立西洋美術館講堂（本館地下1階） **対象**：区内在住・在勤・在学（中学生以上）の方

定員：50名（先着順） **参加費**：無料

講師：山名善之 氏（東京理科大学准教授/国立西洋美術館客員研究員）

申込方法：インターネットまたは往復はがき

■インターネット

◎パソコン：台東区ホームページ（<http://www.city.taito.lg.jp/>）のトップページから
便利情報「電子申請」を選択し、専用のフォームからお申込みください。

◎携帯電話：右記QRコードからお申込みください。電子申請のページにリンクします。

QRコード



■往復はがき

「往信用裏面」に、（1）住所・氏名（ふりがな）、（2）参加人数（1枚のはがきで2名まで。2名の場合はそれぞれの氏名を必ず明記してください。）（3）電話番号を、

「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名をそれぞれご記入のうえ、下記へお送りください。

◎宛先：〒110-8615 台東区東上野4-5-6 台東区役所世界遺産登録推進室「区民講座」担当

申込締切：■インターネットの場合 平成24年2月6日（月曜日）午後5時まで

■往復はがきの場合 平成24年2月6日（月曜日）必着